

2014年3月期 決算説明資料

2014年5月7日



三井造船株式会社

MITSUI ENGINEERING & SHIPBUILDING CO.,LTD.

将来の業績に関する予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

14年3月期 決算のポイント

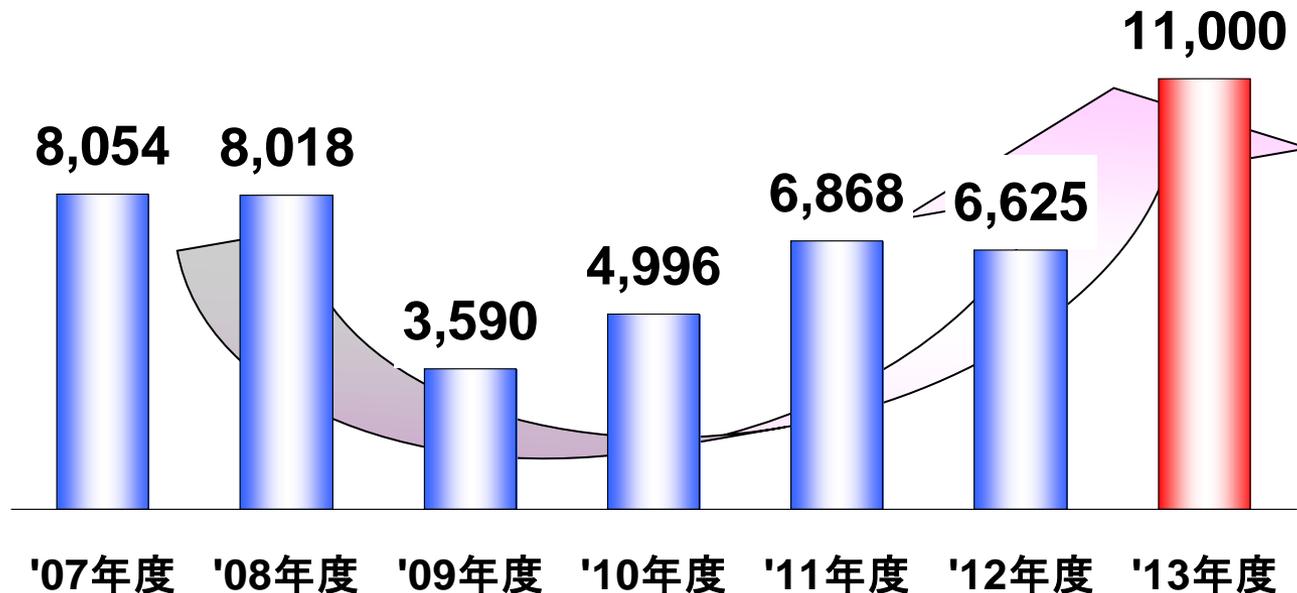
- **連結受注高 1.1 兆円（過去最高）**
- **計画を上回る利益水準**
- **グループ運営の強化**

14年3月期 決算のポイント

●過去最高の連結受注高1.1兆円

- ・新造船・船用D Eの受注回復
- ・活発な海洋開発投資
- ・石化プラント案件の増加
- ・海外でのバイオマス発電

(単位：億円)



14年3月期 決算のポイント

●過去最高の連結受注高1.1兆円

船舶海洋部門

エコシップの需要拡大（前年6隻⇒25隻）

MODECも過去最高の受注高を記録

新潟造船が海洋支援船 4隻受注（世界最大級の曳航能力）



機械部門

環境規制に対応した船用DEの需要の高まり

好調なクレーン需要

蒸気タービンの連続受注



エンジニアリング部門

大型石油化学プラント（アメリカ、シンガポール）

ディーゼル発電プラント、バイオマス発電プラント

14年3月期 決算のポイント

●計画を上回る営業利益、経常利益、当期利益

(単位:億円)

	13年3月期 実績	14年3月期		増減 (B) - (A)
		期初計画 (A)	実績 (B)	
売上高	5,771	6,500	6,701	201
営業利益	240	140	200	60
経常利益	262	150	262	112
当期 純利益	△82	50	429	379
US\$期末日 レート	94.05	95.00	102.92	
US\$実績 レート	83.03		95.56	

- 原価低減施策、固定費削減対策、円高修正
- 特殊要因

14年3月期 決算のポイント

●グループ運営の強化

三井造船とMODECとの連携強化

MODECの受注力・収益力の向上にむけた各種取組みを実施
FEEDにおける設計要員の派遣や海外への技師派遣など協業を加速
資本の面では2014年4月に第三者割当増資を引受け、連結関係を維持

グループの総力で大型石油化学プラントを受注

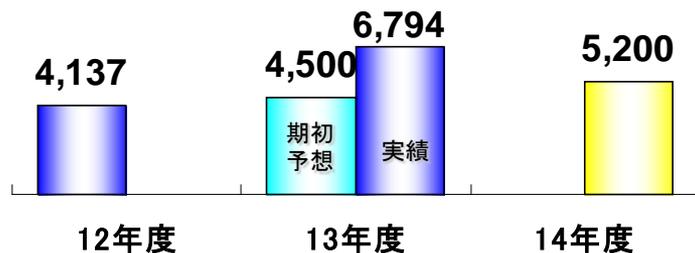
三井造船と100%子会社であるECI（米国）及び
2013年10月に設立したMESA（シンガポール）の3社共同で
シンガポール向け大型石油化学プラントのEPC契約を締結

昭和飛行機工業の子会社化

子会社化によるシナジー効果の発揮とグループ運営強化
グループとしてバランスの取れた事業ポートフォリオへ一定の前進
結果として経営基盤が強化

(単位：億円)

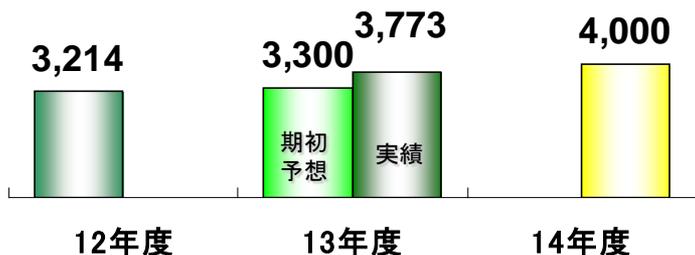
受注高



受注高

前年同期比2,657億円増加の6,794億円。
船価の底値感の広がりから発注意欲は高まっており、
単体では、前年のばら積み船6隻に対し、25隻を受注。
MODECはFPSO2件とO&Mを受注し、引続き好調で
過去最高の受注高を達成。

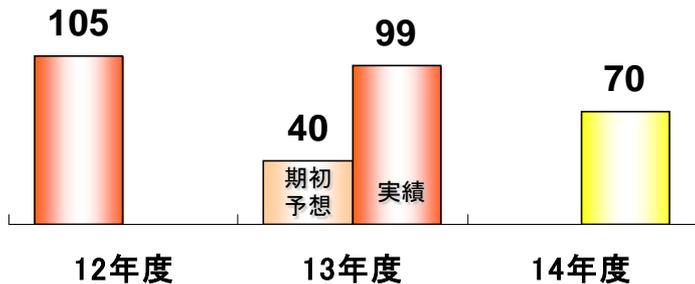
売上高



売上高

前年同期比559億円増加の3,773億円。
新造船は減少するも、子会社等の増加もあり、
前年比約15%増加。

営業利益

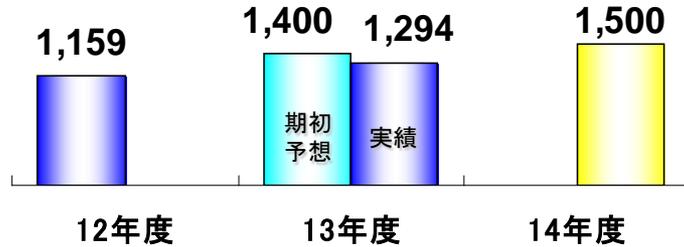


営業利益

営業利益は、コストダウンの成果や円高修正
などにより、期初予想40億円から59億円増加の
99億円。

(単位:億円)

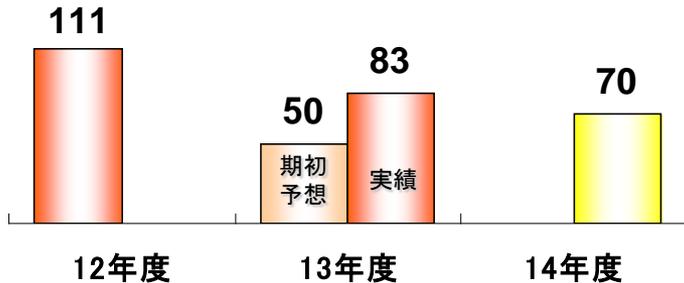
受注高



売上高



営業利益



受注高

船用ディーゼル機関は計画値以上の受注を達成し、14年度の操業量は前年並みの水準を確保。物流運搬機は国内外において新設・代替共に好調で拡大基調を維持。産業機械は需要は堅調なもの、価格競争厳しく苦戦。

売上高

船用ディーゼル機関が減少したものの、好調なクレーンなどでカバーし前年比21億円の微増。

営業利益

船用ディーゼル機関本体の採算は引き続き厳しいものの、コストダウンで落ち込みを最小限とし、アフターサービス事業の安定的な利益に加え、好調なクレーンで利益の上積みをはかることで、計画値を33億円上回る83億円の営業利益を達成。

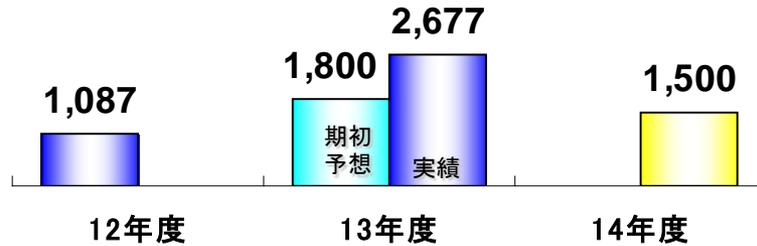
ご参考:船用ディーゼル機関

	12年度累計		13年度累計	
	基数	万馬力	基数	万馬力
受注高	126	232	137	273
売上高	173	359	149	343
受注残	152	362	140	293
生産	187	383	164	357

14年度生産
180基
355万馬力
(予定)

(単位: 億円)

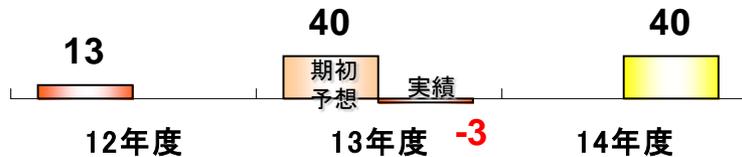
受注高



売上高



営業利益



受注高

石化分野ではトルクメニスタン向け硫酸プラントやシンガポール向け大型プラント等を受注。発電分野でも子会社BWSCがディーゼル発電プラント及びバイオマス発電プラントを受注するなど、受注高は過去最高レベルとなる2,677億円。

売上高

受注の遅れから計画値に届かなかったもののBWSCの増収などにより前年比320億円増。

営業利益

受注環境好転を取り込んで、工事量は増加。一部工事のコストオーバーランの影響により黒字計上ならず。

ご参考: 連結受注高・売上高内訳

億円	12年度累計		13年度累計	
	石油化学	環境 インフラ他	石油化学	環境 インフラ他
受注高	576	511	1,534	1,143
売上高	413	441	539	635

15年3月期の連結業績予想

	14/3期 実績	15/3期 予想	増減
受注高	11,078	8,700	△2,378
売上高	6,701	7,600	899
営業利益	200	210	10
経常利益	262	200	△62
当期純利益	429	100	△320
1株当り配当	2円	2円	

US\$前提

100.00

15年3月期の連結業績予想

(単位：億円)

15/3期予想	受注高	売上高	営業利益
船舶海洋	5,200	4,000	70
機械	1,500	1,500	70
エンジニアリング	1,500	1,600	40
その他	500	500	30
合計	8,700	7,600	210

1 4 中計 進捗状況

● 事業領域の変革とビジネスモデルの変革

【戦略の柱1】 製造事業の変革

環境対応技術による差別化（エコシップ、ガス焚き等二元燃料D E）
海洋資源開発分野の拡大・強化（Generic FPSO、海洋支援船）

【戦略の柱2】 エンジニアリング事業の拡大

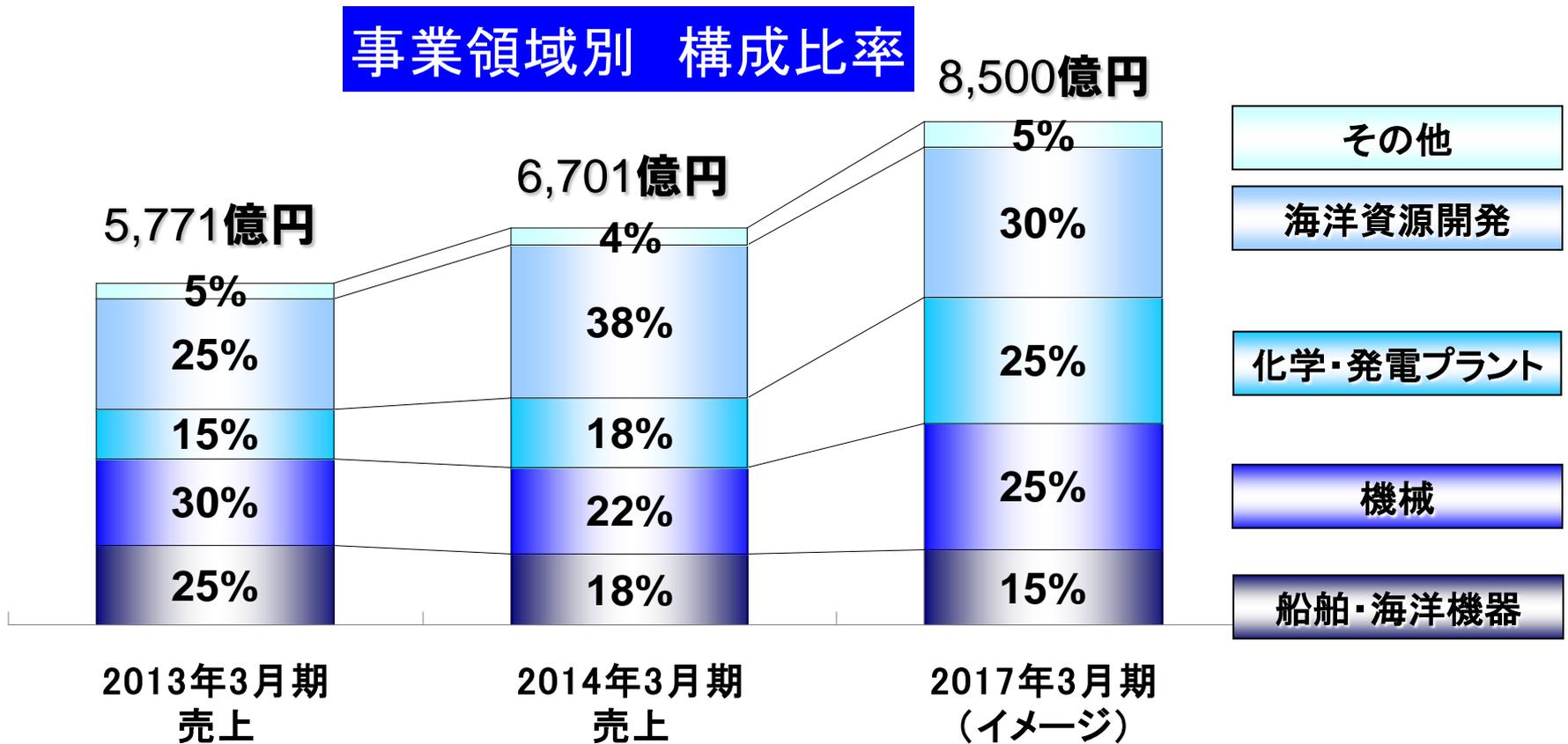
コスト競争力、プロジェクト遂行力の更なる強化（EPC受注拡大）
再生可能エネルギー分野の拡大（メガソーラー、バイオマス、風力etc.）
子会社との相互連携強化（MODEC、BWSC、MESA）

【戦略の柱3】 事業参画、周辺サービス事業の拡大

テクノサービス事業の海外拠点拡充・強化
クレーン周辺サービスの拡充とターミナル事業への参入
ライフサイクルエンジニアリングサービスの育成

1 4 中計 進捗状況

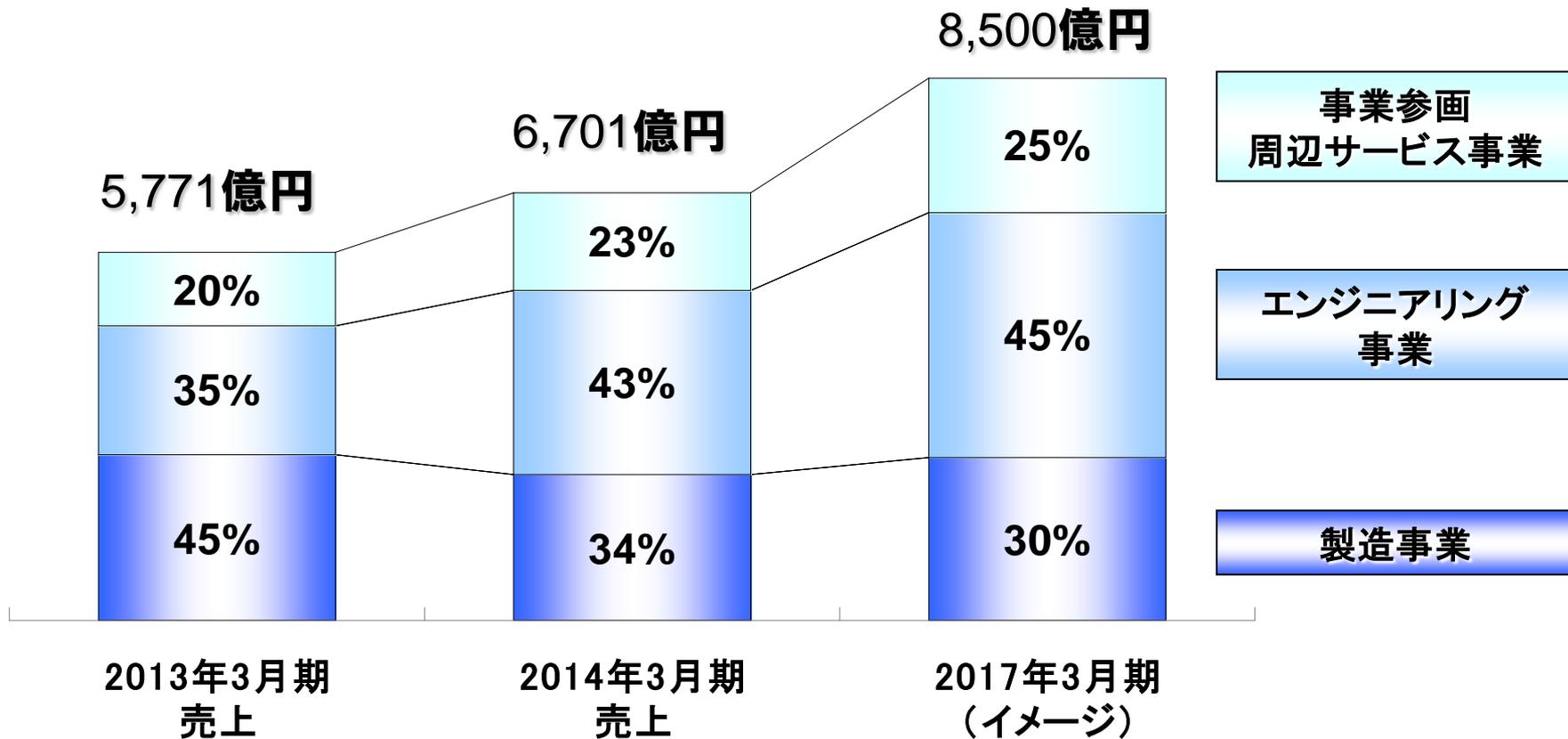
バランスのとれた事業ポートフォリオに向けて



14 中計 進捗状況

バランスのとれた事業ポートフォリオに向けて

ビジネスモデル別 構成比率



1 3 年度 連結損益計算書 (要約)

(単位: 億円)

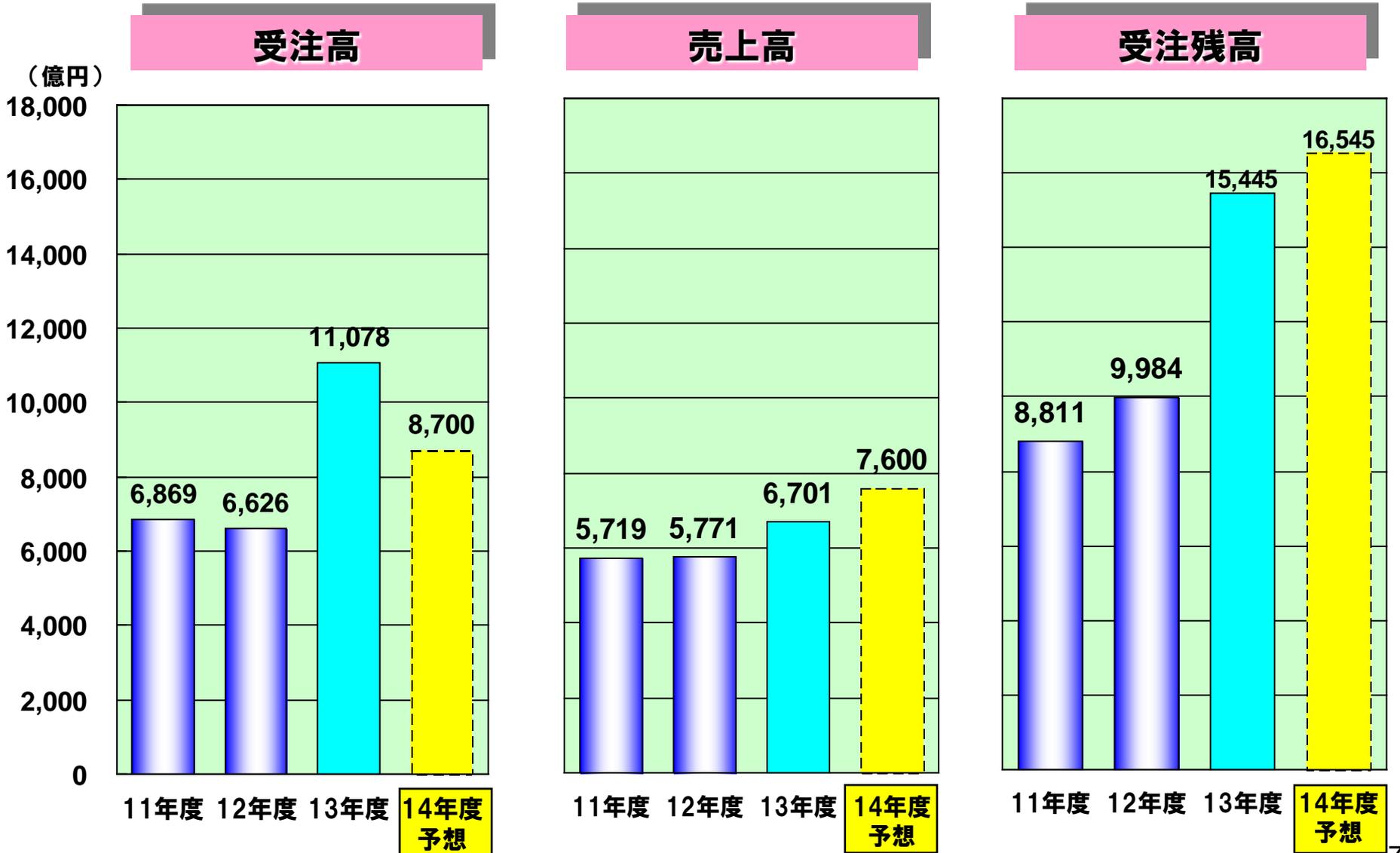
	12期末		13期末		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	5,771	(100.0%)	6,701	(100.0%)	930
売上原価	5,110		6,067		
売上総利益	661		633		
販売費及び一般管理費	421		433		
営業利益	240	(4.2%)	200	(3.0%)	△ 40
営業外収益	83		132		
営業外費用	61		70		
経常利益	262	(4.5%)	262	(3.9%)	0
特別利益	10		376		
特別損失	271		156		
税引前利益	1	(0.0%)	482	(7.2%)	481
法人税、住民税及び事業税	101		70		
法人税等調整額	△ 41		△ 33		
少数株主利益又は損失	22		16		
当期純利益又は損失	△ 82	(△ 1.4%)	429	(6.4%)	511

13年度 連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	12期末	13期末	増減		12期末	13期末	増減
流動資産	(3,536)	(4,070)	(534)	支払手形・買掛金	1,362	1,782	421
現預金	866	892	27	前受金	541	587	47
受取手形・売掛金	1,611	2,115	504	有利子負債	1,483	1,878	396
仕掛品	311	273	△ 38	その他	1,146	1,845	699
その他	749	790	41	負債合計	(4,531)	(6,093)	(1,562)
				資本金	444	444	-
				資本剰余金	182	182	-
固定資産	(3,068)	(5,259)	(2,191)	利益剰余金	955	1,363	407
有形固定資産	1,919	3,797	1,878	自己株式	△ 7	△ 9	△ 1
無形固定資産	119	118	△ 0	その他包括利益累計額	183	224	42
投資有価証券	522	646	124	新株予約権	-	1	1
その他	508	698	190	少数株主持分	317	1,031	714
				純資産合計	(2,073)	(3,236)	(1,163)
合計	6,604	9,329	2,725	合計	6,604	9,329	2,725

連結受注高・売上高・受注残高推移



連結受注高・売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

	受注			売上			営業利益		
	12年度 実績	13年度 実績	14年度 予想	12年度 実績	13年度 実績	14年度 予想	12年度 実績	13年度 実績	14年度 予想
船舶海洋 部門	4,137	6,794	5,200	3,214	3,773	4,000	105	99	70
機械部門	1,159	1,294	1,500	1,450	1,471	1,500	111	83	70
エンジニア リング部門	1,087	2,677	1,500	854	1,174	1,600	13	△3	40
その他	243	312	500	254	283	500	10	21	30
合計	6,626	11,078	8,700	5,771	6,701	7,600	240	200	210

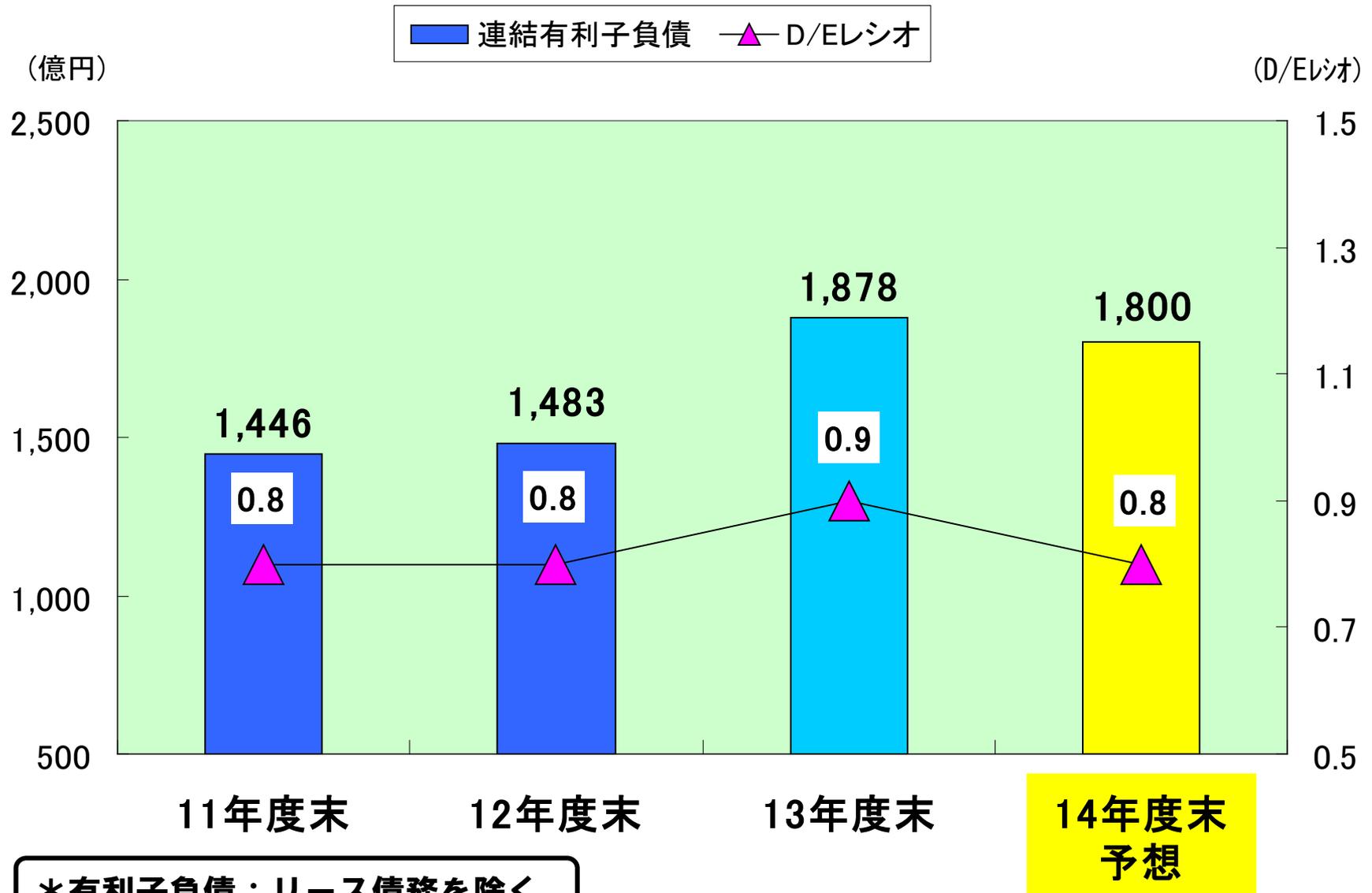
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘要	12年度 実績	13年度 予想	13年度 実績	14年度 予想
営業活動による キャッシュフロー	472	80	145	50
投資活動による キャッシュフロー	△121	△320	△373	△320
財務活動による キャッシュフロー	△48	190	155	20
有利子負債	1,483	1,700	1,878	1,800

*有利子負債：リース債務を除く

連結有利子負債残高とD/Eレシオの推移



*有利子負債：リース債務を除く

補足:連結 部門別

(単位:億円)

受注高

区 分	12年度	13年度	14年度予想
船舶海洋	4,137	6,794	5,200
機 械	1,159	1,294	1,500
エンジニアリング	1,087	2,677	1,500
そ の 他	243	312	500
合 計	6,626	11,078	8,700

売上高

区 分	12年度	13年度	14年度予想
船舶海洋	3,214	3,773	4,000
機 械	1,450	1,471	1,500
エンジニアリング	854	1,174	1,600
そ の 他	254	283	500
合 計	5,771	6,701	7,600

受注残高

区 分	12年度	13年度	14年度予想
船舶海洋	6,972	10,897	12,097
機 械	1,221	1,060	1,060
エンジニアリング	1,712	3,337	3,237
そ の 他	79	151	151
合 計	9,984	15,445	16,545

補足：子会社、設備投資、従業員等

受注・売上高
主要子会社

(単位：億円)

会社名	11年度		12年度		13年度		14年度予想	
	受注高	売上高	受注高	売上高	受注高	売上高	受注高	売上高
MODEC	2,777	1,300	3,427	1,869	5,185	2,579		3,000
BWSC	263	176	116	164	817	292		440

(単位：億円)

設備投資等

	11年度	12年度	13年度	14年度予想
	連結	連結	連結	連結
設備投資	119	126	225	150
減価償却費	172	163	151	
研究開発費	61	60	51	60

(単位：人)

従業員数

	11年度	12年度	13年度	14年度予想
	連結	連結	連結	連結
従業員数	10,025	9,881	12,055	

補足：13年度 単体新造船受注内訳

(単位：隻)

船 種	受 注	引 渡	受注残
タンカー	0	0	0
バルクキャリアー	25	17	39
その他	1	2	8
合 計	26	19	47